

< 運営推進会議における評価_ >

【事業所概要】

法人名	株式会社こすもす	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業所 こすもすの家
所在地	(〒 920-0017) 金沢市諸江町下丁 88-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

事業所の特徴として通いサービスを中心にしながら、必要に応じて宿泊サービスや訪問サービス、訪問看護を受けることができる一体化の在宅支援サービスを提供できます。

医療依存度の高い方でも在宅を中心に安心して暮らせるように一体的で質の良いサービスを提供していくことに力を入れています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	2023年__3__月__15__日	従業者等自己評価 実施人数	(__13__)人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	-----------	---------

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価		
			自己評価	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>3. 個人目標を出してもらい、評価のみしていたが、年に2回は面談し目標の達成なども管理者と話合う</p> <p>4. 研修等の研修案内も行い機会を作ったり、外部研修にも研修費の助成を行い皆が平等に参加できるようにする</p> <p>9. 安全委員会を毎月、定例化し安全確保のマニュアル等を作成した。</p> <p>10. 災害マニュアルは以前のをさらに見直す</p>	<p>3. 年に2～3回の面談を行い目標の達成度も確認しながら翌年につなげるようにした</p> <p>4. 年間の育成計画を作成し、必要な研修には順次参加してもらった。ただ子育て世代の参加率が低いため、今後の課題となっている</p> <p>9. 毎月の安全委員会で議論され、事業所独自のマニュアルは作成できている</p> <p>10. 災害時にしっかり活用できるマニュアルのなるよう手直した</p>	<p>3, 4について 年に2回の面談を実施。面談以外でも話し合いの機会は多く持った。職員同士で情報の交換を密に行った。研修に参加できない職員には動画で見てもらったりした。</p> <p>9.10について 委員会もしっかり活動しており、中心となってマニュアルも完成した。</p>	<p>○研修で得た知識や方法などを共有するための動画の活用はとて素晴らしいと思います</p> <p>3について、定期の面接以外に話し合いの機会を多く持つことや職員同士の密な情報交換は今後も継続し事業の円滑な運営に努めてほしい。</p> <p>4について、動画での研修実施によりライフステージの変化に柔軟に対応されていることは評価できる。</p> <p>9.10 マニュアルは定期的に確認し必要時適宜見直し修正を行ってください</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>12. 介護職と看護職がそれぞれの視点から情報共有をする</p> <p>14. 回復・向上できるような計画立案</p> <p>15. 今後の状況変化を予測したお話が利用者、家族とできるようにしていく</p>	<p>12. 受持ち制にしており、それぞれの立場から意見出し合い話し合いをした</p> <p>14. 計画の立案はできているが具体的にどのように実践していけるか話し合う</p> <p>15. 受持ち担当とケアマネが中心となり話を進めていく</p>	<p>12. 介護も看護も受持ちを意識し相談しあえている。</p> <p>14. 歩行訓練や嚥下訓練、リフトを使用して残存機能を活かしたケアを提供している</p> <p>15. 終末期の利用者に関してはされているが、変化なく過ごしている利用者の急な対応な</p>	<p>12. 受け持ち制は継続してみたいだけし、日々の状態について話しやすいです</p> <p>14. 残存機能を活かしたケアは大変だと思いますが、大切なことだと思います</p> <p>15. リスクについては家族も共有しその対応について話し合</p>

	<p>16. 適宜にサービスを見直し、評価を行う</p> <p>18. かかりつけ医、薬局とは情報のやり取りを行い密に連絡する</p> <p>21. 看護職と介護職とがカンファレンスやミーティングで学ぶ機会を作っていく。</p>	<p>16. 適宜にサービスを見直し、評価をおこなった</p> <p>18. 関係多職種とは常に連絡を取り情報のやり取りを行っている</p> <p>21. 看護職、介護職はケアミックスで利用者に接することができている</p>	<p>どの話し合いができていない</p> <p>16.状態変化はキャッチで来ていても計画に反映していない</p> <p>18.多職種との関係は密に連絡取り合っている</p> <p>21.看護師からの勉強会はまだできておらず</p>	<p>っていくことで計画につながっていると思います</p> <p>15 終末期以外の利用者に対しても本人、家族と状況変化を予測した対応について話し合う機会を持つように努めてほしい</p> <p>18.ケアミックスで双方、学ぶことが多いと思います</p> <p>21.勉強会もぜひ実施してください</p> <p>21 看護師からの勉強会については事例を通したワンポイント講座等実施しやすい内容、方法を検討してください</p>
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>27. 終末期ケアにおいて、丁寧に説明はしており記録として残すようにする。</p> <p>29. 緊急時の対応をどのようにするのが全員とできていない</p> <p>32. 運営推進会議の開示をしている。ミーティングでも情報発信している。</p> <p>33. 諸江の認知症カフェでお話の機会を頂き、それが発端となりできればよい。</p>	<p>27. 早めに説明するようになっているが時期を見計らうのがむずかしいと感じている。</p> <p>29. 緊急対応は少しずつ対応方針を決めている</p> <p>32. ミーティングでも運営推進会議で出た意見を話したりしている。</p> <p>33. 認知症カフェへの参加は今後もしていきたいと思っている</p>	<p>27.主治医とも密に連携を取り今後起こってくる身体変化など、多職種と連携し説明している</p> <p>29.各利用者のかかりつけ医、緊急連絡先などわかるように作成している</p>	<p>個人カードのようなものがあるのでしょうか？あるのなら家族が確認できるといいと思います。変更・追加などがあるかもしれません。</p> <p>災害時で避難するときに持ち出すこともあるのですか？</p> <p>29 緊急時の対応については看護職以外の職員とも検討し対応方法について共有しておくことが必要と思われますので</p>

					ミーティングなどで適宜検討共有できるよう努めてほしい
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	<p>36. 体制は整っているが簡易式のものを受けるが人工呼吸器は対応しない。</p> <p>38. 全体ミーティングで地域包括ケアシステムの講義を希望する職員が多く、今後行う予定。</p> <p>40. 運営推進会議で必要に応じて課題提起する</p> <p>41. 家族には、機会があれば行っているが、近隣住民に向けての取り組みができない。</p>	<p>36. 今後も人工呼吸器の対応する予定はなし</p> <p>38. 包括システムについての話し合いはできていない</p> <p>40. 前年度までコロナ感染症対策にて実際の会議ができていなかった。今年は新しい方々と話し合いができればよいと思う</p> <p>41. 町内行事や諸江の認知症カフェの参加など心がけたい</p>	<p>38. 管理者、ケアマネは理解できているが職員は理解できていないという声が多い。</p> <p>40.41 地域の方々とのかかわりが持てていない。今後も積極的に認知症カフェなどに参加しこすもすの家という事業所があることをお伝えしていきたい</p>	<p>介護サービスを受けることが多くなると地域とのつながりが薄くなる→地域包括ケアシステムでどのように変わっていくのか、期待は大きいです</p> <p>地域とのかかわり方については地域に向けた発信や町会行事、認知症カフェなどへの参加以外に行事への協力事業所として可能な方法を地域関係者とも検討して欲しい</p>
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)	42. ケアマネージャーの計画を介護職、看護職と一緒に取り組む。	<p>必要時、いつでもサービスの変更ができご家族も安心できる部分もある。</p> <p>自分の受持ち以外の利用者の把握ができていないことが多く職員も安心してケアが行えるようなシステムづくりをしていきたい</p>	すべての利用者の計画目標が職員間で共有されていないことがある。	<p>時には受け持ち以外の利用者のお世話をしなければならないこともあると思います。情報共有しやすいようにお願いします</p> <p>職員間で共有できていない原因を明らかにし実行可能な方法を検討して欲しい</p>	

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	人材の育成で中長期目標を立てる。 運営推進会議で得られた要望や助言を反映する。 安全管理の徹底 事業所の具体的な対策を講じる。 災害時の緊急時の対策の構築を講じる。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27) 看護職と介護職が実施したアセスメントの結果を共有 利用者の今後の予測とリスク管理を踏まえた計画作成 看護職から介護職に対しての予防、機能回復等の提案等	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31) すべての利用者に緊急時の対応方針をたてる。 急変時に即座に対応が可能な体制を構築する 運営推進会議においての情報提供や提案が行われる	家族との共有が大切だと思います
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41) 運営推進会議の記録の開示で情報発信ができる。 看多機の果たす役割等が正しく理解してもらうため、地域に啓発活動を行う こすもすの家の登録者以外にも積極的に訪問看護で対応する。 地域包括ケアシステムの構築方針や内容を理解してもらう 介護、看護の観点から地域の関係者に課題提起や改善策の提案を行う。 近隣住民などに介護力の引き出しや向上に取り組む	近隣住民などの介護力とはどのようなことか。具体例があるとわかりやすいです。(次の推進会議で教えていただけるとうれしいです) →認知症カフェ等地域サロンでの家族からの相談を受け入れられるように、積極的にもろえ社会福祉協議会などにこちらから声掛けしていこうかと思います
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	4 2. 4 3. 4 4. 目標の達成をあげていく。	

※ 「改善計画（案）」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない	
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]						
(1) 理念等の明確化						
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践						
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	3	10	0	0	<p>本人の体調、家族の都合により柔軟に対応していただけるので助かっています</p> <p>評価が高いのもそういうことができている実態があるからこそだと思います</p> <p>利用者や家族の状態に応じた柔軟なサービスの提供により①～④ははおおむね実施できている</p> <p>⑤については他機関との連携をさらに推進して欲しい</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態が悪くなった利用者様や、家族の急な体調不良、仕事の都合などがあつた時、泊まりサービスを提供し家族の負担軽減に努めている ・難病の利用者の在宅での入浴介助をしている。在宅での看取りも行った。家族の負担軽減の為にデイでの滞在時間や送迎時間の調整、泊まりを増やすなどしている ・利用者様、ご家族に対して「人生会議」に準ずる話しを一緒にしたり、その方、ご家族が在宅での療養生活を送る上での、困難に対するの援助を行っている。在宅で看取りを希望される方には、柔軟に対応している。 ・ご本人、ご家族のご希望を時期に応じてお聞きし、在宅生活が可能な方法を検討している ・ALS等の難病のかたや聴力障害者、がん末期の看取り期等のさまざまな状況の利用者さんの在宅生活と家族の負担軽減のためにショートを利用したり訪問を利用したりしている ・デイサービス、訪問介護、看護、リハビリを利用し、在宅生活を支援する。ショートステイを利用し、ご家族の介護負担の軽減、リフレッシュを図る 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき ていない	全く でき ていない	
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2	10	1	0	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズが高い利用者様に対し、通い、訪問、泊まりのサービスを提供する場であることを理解し実践出来ていると思う。 ・倫理研修において、会社の理念を再確認し、利用者にとっても働くスタッフにとっても居心地の良い場であるよう、勤務にあたっている ・勉強会、講師を招いて研修を行うなどしている ・様々なニーズに合わせた柔軟な対応を職員それぞれが意識を持ち実践しています ・職員の自己実現、利用者、地域社会の貢献に努める ・会社の理念を常に思いケアに取り組んでいます 				
(2) 人材の育成						
① 専門技術の向上のための取組						
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	2	6	4	0	定期的なミーティングや研修会後のフィードバックを充実させ無資格、未経験の職員の力量形成を支援して欲しい
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が皆 1年間の自分の目標をあげ、それに対し自己評価、管理者評価、社長評価が行われている ・無資格、未経験の職員に対してどのように育成したらいいかがわからなかった。職員のケアの力量にバラつきがあると感じる ・ミーティングはもちろんのこと、職員の間でも旺盛に意見交換ができています 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のミーティング、研修の参加。外部からの講師の研修や職員それぞれ興味がある外部の研修への積極的な参加がされている。事業所内での看護師やリハビリの先生などとも連携をとり細かいアドバイスをその都度情報交換できている ・社内、外研修を定期的に行っている 				
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	4	7	2	0	<p>全員が研修で同じようにスキルアップしていければいいと思いますが、なかなか難しいと思います。私は看護師さんたちのケアの仕方を見ながらよい方法を学んでいます。複数人で介護に当たった時、他の人のやり方から学びあう（教える・考える）ことが一番身近だと思います。（専門的なことより、丁寧さ・衛生面で少し差があるように思います）</p> <p>研修参加の機会を広く提供できるように計画されています。個人スキルの向上のため計画から実施評価を日常業務に取り入れることも検討してみてください</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望した研修には いつも参加させてもらっている ・外部研修の案内はされており、希望者は研修に参加している。会社では教育委員会が定期的に研修を行うように計画している ・研修の機会はありますが、日常の業務に必要なスキルの向上に関しては、個人のスキルの評価と必要な技術、そしてその技術を習得する具体的な方法と、計画して実行できると良いなと思います ・自主性に委ねられている所が大きいと思う ・研修会などへの参加を促したり、希望する研修などへ積極的に参加させてもらえる ・外部の講師をおよびしての全体研修の他に、個人がそれぞれ行きたい研修に行けるよう日程を調整してくれている ・社内外の研修を定期的に行っている 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき ていない	全く でき ていない	
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保						
5	○ 介護職・看護職・介護支援 専門員の間で、職員が相互 に情報を共有する機会が、 確保されている	4	9	0	0	ミーティング、カンファレンスの他伝言ノートを活用するなど工夫されており職員の意識の熟成されつつある
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様に問題が発生した時や、職員が対応に困っているような時は、みんなで話し合う機会を設けている ・月に一度スタッフミーティングは行われており、そこで変化のあった利用者や新規利用者の情報について共有している ・日常より意見交換に努めている ・担当者として受、直ぐに話し合える状況にあるし、担当以外のスタッフも気付いたことなどは担当者へ話をする流れがある ・毎月のミーティングと毎朝のミニカンファの他に、情報を共有しないとイケない意識が職員にあるので業務のすき間時間に全員に伝わるように細かく伝達していている ・毎朝のミニカンファレンス、申し送り、伝言用ノートを活用している 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき ていない	全く でき ていない	
(3) 組織体制の構築						
① 運営推進会議で得られた意見等の反映						
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0	5	6	1	運営推進会議の目的や機能を職員が把握できるようミーティング等で周知して欲しい
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・会議で何が話されているかわからない。会議録は作られているが、ミーティングなどで重要な事項があれば簡単に報告して欲しいと思う ・運営会議で話し合われた決定事項など、管理者が職員に報告し、共有している ・運営推進会議の内容をよく知らない				
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備						
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	6	6	0	0	職員の働きやすい職場環境の整備に努められている
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・有給がとりやすく、残業もできるだけさせないようにしてくれている。急な欠勤でもフォローし合える職場の環境づくりがされていると感じる				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない	
(4) 情報提供・共有のための基盤整備						
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備						
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅 速に共有できるよう工夫 されている	1	12	0	0	<p>ノート</p> <p>特記事項（発熱）に赤ラインが引かれていると分かりやすいです</p> <p>ツールの活用方法については他事業所などの情報も踏まえて検討してください。あいまいなことを相談できる関係づくりを心掛けてほしい</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に共有ノートを活用し情報共有を行っているが、共有ノートに書き忘れたことなどはグループ LINE に入れることもある。しかし、LINE は正式な伝達ツールではないという意見もあり今後の課題であると考え ・グループラインや共有ノートなどで迅速に情報が共有できるようにしている ・連絡事項を共有するノートがあるのでそれを必ず見る意識と、予定表カレンダーを必ず見る意識が職員にあるので、あいまいな事があればすぐ確認するよう声かけを行えている ・職員間で日々利用者の状況を申し送り等で共有している 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない	
(5) 安全管理の徹底						
① 各種の事故に対する安全管理						
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	11	0	0	医療、ケア事故の予防、対策は講じられていますが個人情報情報の保護についてはどのようにされていますか→個人情報情報の取り扱いについて同意書をいただいています。写真の掲示や SNS での撮影について
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ヒヤリハットをミーティングで報告し、予防対策をスタッフ間で共有している。送迎時等の緊急時の対応マニュアルが作成されている。 定期的な避難訓練が行われている ・事故やヒヤリが上がれば、用紙に記載し、報告者と管理者が対策案をあげる。また毎月の安全委員会で話し合いまとめる				
② 災害等の緊急時の体制の構築						
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	9	2	0	日ごろの小さな変化、出来事への対応ができているからこそ、想定外のことに對しても乗り切ることができたのだと思います。ありがとうございます。 マニュアルは開示し常時職員全員が活用できるように努めてください
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・災害や火災を想定した訓練が定期的に行われており、物品の備えも出来ている ・昨年、利用者や職員にコロナ感染者が多数出たり、大雪の時のデイ縮小などがあったが、具体的な方針があるわけではなく、その時にできる対応で乗り切った ・防災訓練などはきちんと実施できていると思いますが、実際に災害が起こったときに、本当にどうなるのかと、不安ではあります ・マニュアルの明示が不足している・緊急時連絡網がある ・定期的な避難訓練が行われている、職員個人に防災リュックが配布されている 一部では対応方針が作成できているが、まだ作成段階である				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
Ⅱ サービス提供等の評価						
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供						
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成						
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施						
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	2	7	4	0	<p>どのスタッフさんも相談しやすいので助かっています</p> <p>できていない利用者への対策について事業所全体で検討し実施できるように努めてください</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来ている利用者様と出来ていない利用者様がいる ・自宅での介護状態を見て、家族や本人の要望にできるだけそった対応をしている。夜間も電話当番が訪問や電話対応できるような体制が整っている ・お互いに得られた情報の共有に努めている ・常に家人を含めた話し合いが行われている様に思う ・入職半年なので、具体的には関わっていない 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	1	10	2		介護職と看護職間でアセスメントの結果を共有し状態の変化にも柔軟に対応できるように努められています
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べると、介護職も看護職も自分の受け持ちを理解しようとしており、受け持ち同士で方針を決めていくようになって来ている ・通いの回数、送迎時間はできる限り家族の要望にそって対応している。家族の介護力に応じて、訪問時に弁当を配達したり、夕食を提供してから帰宅している利用者もいる ・関わっていく中で利用者のお考えを知るよう努めている ・日常生活の中で、その都度家人も含め、話し合いを行なっていると思う ・ご家族の考えも含めた利用をさせていただいているが、日々ご家族の気持ちも変化するときなどは職員間で細かく状況を把握するように努めている 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成						
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	9	3	0	家族本人の考えを含めたケアプラン、看護計画、介護計画が一体的に行えるよう職員間の共同に努めてください
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来、ケアプランに基づいて看護計画、介護計画が作成されるべきであるが、ケアプランの作成が遅く、家族や利用者の考えや想いが反映されているか定かではない。 ・通いの回数、送迎時間はできる限り家族の要望にそって対応している。家族の介護力に応じて、訪問時に弁当を配達したり、夕食を提供してから帰宅している利用者もいる。 ・関わっていく中でお考えを知るよう努めている ・日常生活の中で、その都度家人も含め、話し合いを行なっていると思う ・ご家族の考えも含めた利用をさせていただいているが、日々ご家族の気持ちも変化する時などは職員間で細かく状況を把握するように努めている <p>入職半年であまり関わっていない。</p>				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりでき ていない	全く でき ていない	
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1	9	3	0	利用者本人の状態や介護者、家屋の状況などを考慮し心身機能の維持、回復、生活機能の維持向上ができる介護計画作成に努めてください
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u> 歩行訓練や嚙下訓練、尿意のある利用者へはリフトを使用している。 利用者さんの ADL の維持を意識して関わることを心がけている</p>						
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成						
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	0	4	9	0	主治医との情報共有や助言をもとに予測される状況に対する計画策定と共有に努めてください
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者様の状況の変化に対応した計画の変更が細かく行われていない。 終末期の利用者に関してはされているが、日頃何も元気な利用者の急変時の対応はどうしたらいいかわからない。 おおおよそできているとは思いますが、フィジカルな面では看護師間の情報共有は活発ですが、介護職との共有は今後の課題かと思えます 同上</p>						
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践						
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき ていない	全く でき ていない	
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	1	8	4		早期発見できたところをタイムリーに反映できるよう努めてください
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況変化はキャッチ出来ていても、計画への反映はあまり出来ていない ・連絡ノートにデイ時や訪問時の利用者の状態変化について記載することで、家族スタッフ間でも変化を知ることができ、それが早期発見につながっていると思う。 ・早期に"となると各担当スタッフで差がある様なところも感じられる 				
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映						
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	0	9	1	0	居宅での生活状況の変化が把握できるような機会での情報収集に努められている
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての利用者に訪問日を設けることで自宅での様子や家族の介護状態を把握することができる ・ケアマネ、訪問看護、訪問介護、訪問リハ、送迎時、様々な機会に利用者様、ご家族の状況を把握して共有できていると思いますし、意見交換が計画へ反映されていると思います ・訪問した際ご家族もおいでたら色々お話をしよう心掛けて家で生活状況や利用者の変化など、家族と話す場を設けることで把握している。 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有						
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	0	12	0	0	主治医との連携はタイムリーに行われているようです。 職員間の情報共有も工夫されています
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・主治医にはメディカル等を通じて変化を伝えている ・ナースが月に一回は報告書を作成して異常時は早めに主治医に報告するようにしている ・状況変化を発見した際には、主治医にも迅速に情報共有するよう努めている ・口頭と伝言用ノートで共有している ・担当者会議で情報共有し自社の職員へ申し送りしている				
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供						
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供						
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	3	8	2	0	専門性が最大限に活かせるよう職員の協働と役割分担について効果的であった事例などを共有することも有効であると思われます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・医療的なケアと生活援助のそれぞれを職種で分担しながらサービスの提供ができている ・柔軟な役割分担は出来つつあると思うが、専門性を最大限に活かす事が出来ているかは疑問...				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりでき ていない	全く でき ていない	
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	10	0	0	ケースにより一方の職種のみが情報共有していることがないように努めてください
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態が安定している利用者様の訪問は介護職も対応している。 その時、お互いが気をつけることや、気づいた点などを情報共有している ・看取り期や医療依存度の高い利用者に関しては、ナース間では情報共有されていても介護士には共有されないことがあると感じる ・担当スタッフで差はあると思うが、職種関係なく直ぐに検討し、対応する体制はあると思う ・毎月のミーティングで、話し合い取り組んでいる ・利用者に変化がある時は互いに情報共有し対応策を考え一度話し合った対応を試みている 						
② 看護職から介護職への情報提供および提案						
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	2	10	1	0	介護職の学びをサポートできるよう、ツールの活用や看護職からの情報提供を継続してください
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・申し送り前にリーダーに利用者様の状態を伝えたり、気になる利用者様のことは その都度 情報を伝えている ・以前は看護師から介護職への勉強会があったが今はなく、症状や薬、病気については自己学習するしかないと感じる ・看護職から介護職はおおよそできているかも知れませんが、介護職から看護職への提案等ははまだハードルが 						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
		<p>高いようです。今後はもっと風通しの良い関係を作っていきたいです</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決して病院的な感じではなく、家庭であるという意識で、看護師からの提案やアドバイスはあると思う ・情報交換しながら、業務に取り組んでいる 				
(4)利用者等との情報及び意識の共有						
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供						
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	9	1		<p>利用者や家族の理解度を把握する際、複数職員での確認や定期的に確認を行ってください</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様やご家族の理解度を把握するツールが不明 ・おおよそできているとは思いますが、不十分なところは、気が付いた時に補足的に随時情報提供を行えているように思います ・サービス内容に誤解があるような時は、すぐにケアマネに情報提供している ・担当職員が説明している 				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明						
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		10	1	1	利用者、家族の状態に合わせた説明に努められているように思われます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・訪問時 直接指導したり、ノートに記入している ・自分はする機会があまりないが、看護師やケアマネはできていると思う ・家人が理解出来るまで、何度でも訪問したり、時には家人に来所して頂いて、一緒に行くなどしていると思う ・最初の説明はケアマネージャーが行ってくれているので自分からは出来ていない ・担当職員が指導、説明している。				
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	9	0	1	家族の状況に応じて適切に対応されているようです
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ご家族の理解度に応じて説明方法を変えて説明している ・吸痰や経管栄養、おむつ交換の仕方などを家族に指導して在宅で家族が介護できるように支援している ・よくわからない				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有						
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	1	12	0	0	利用者本人の意向や希望がサービスに反映できるようにつとめられています
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・最期をどこでどのように迎えるのか、受け持ちを中心に聞くようにしている ・常に家人も含めた話し合いが行われていると思う ・できる限り家族や本人の希望や意向に沿ったサービスの提供ができるように調整していると感じる ・ご意向を意識しながらケアにあたっている ・担当職員が対応して、現場に伝達				
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1	8	1	0	在宅生活の継続の可否を検討すべきタイミングに備えて適時、利用者、家族の状況を職員間で共有していきましょう
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看取り期ではないのに、在宅での介護を負担に感じて泊まりを多く使っている利用者家族には、入居施設などの提案をすることも必要だと感じることもある。実際に介護力のない家族のいる家に寝に帰るだけの利用の仕方をしている利用者がいたこともあった ・相談が必要と感じた時には、所長やケアマネに情報提供している ・よくわからない				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	2	9	1	0	資料の活用や丁寧な説明と記録に努められています
<ul style="list-style-type: none"> ・主治医からの話、家族、本人の意向はノートに記載し、同時に共有ノートにも記載している ・終末期に入った時には在宅医から『最後のお別れの時に』などという資料を家族に渡して、今後起こってくる体の変化などについて説明している ・終末期こそ丁寧な説明を心がけている ・医師、看護師、ケアマネを含め、家人と話す機会をその都度もって説明していると思う ・説明等はケアマネや看護師にまかせてしまっている 						
2. 多機関・多職種との連携						
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供						
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行						
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	9	0	1	カンファレンスの活用や情報共有により在宅生活への円滑な移行支援に努められています
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院前カンファレンスに参加し、継続したケア、看護ができるようにしている。 ・退院カンファレンスを行い、他施設や病院との情報共有を行っている ・退院カンファ等も看護師やケアマネにまかせてしまっている ・担当ケアマネ、看護師が対応。 						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき ている	およそ できて いる	あまりでき ていない	全く できて いない	
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有						
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	1	10	1	1	全利用者に対してできていないと回答された職員の方も共有できるよう努めてください
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・全ての利用者には出来ていない ・緊急時の連絡先と、対応方針は一覧になっている ・各主治医・医療機関と連絡を取れるよう準備し、必要時連絡している ・担当職員が対応している ・各利用者のかかりつけ医、緊急連絡先を作成している				
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築						
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	2	11	0	0	対応可能な体制が構築できているようです
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・在宅医がついている利用者に関しては急変時に主治医に連絡。かかりつけ医がある利用者は、それがわかるように一覧にしてある ・各主治医・医療機関と連絡を取れるよう、日頃より準備している ・当番看護師が電話対応し、医師も24時間体制で対応している ・担当職員が対応している				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
(2) 多職種との連携体制の構築						
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討						
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	0	4	4	2	推進会議にも参加されていない職員にも共有できるように努めてください
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・自分は参加していないが、地域の人や利用者家族に参加してもらって、情報提供や話し合いはされている ・携わっていないのでわからない ・自分は参加したことはない ・よくわからない				
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画						
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案						
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信						
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	2	3	5	1	運営推進会議に参加されている地域関係者の意見を参考にしながら啓発活動の方法について検討してみてください
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・会議録がつづられたファイルがあり誰でも見ることができるようになっている ・携わっていないのでわからない ・関わっていない ・よくわからない。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない	
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	0	1	7	2	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・オレンジカフェや認知症カフェに参加しているスタッフが、積極的に啓発活動はできていないように思う ・携わっていないのでわからない ・関わっていない ・よくわからない。				
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮						
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供						
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	0	3	6	1	依頼に応じて登録者以外への訪問看護も実施できているようです
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・わからない ・依頼があればステーションの利用者様の訪問看護を行っている。 ・大桑の家への看護師の訪問を行い、施設の利用者の健康管理をしている ・自分は把握していない ・訪問看護ステーションがある。				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ						
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	6	7	0	0	必要に応じて対応されているようです
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護職が夜勤のときは、夜間の訪問看護を行い対応している ・以前に比べ吸痰の必要な利用者がずいぶん多くなっている。夜間も電話当番のナースに連絡したり、定時に訪問してくれることで介護職が夜勤の時も吸痰ができています ・吸痰できないスタッフ夜勤の場合でも、必要に応じて看護師が対応している ・資格を持つ職員の配置や、訪問看護で対応				
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	3	1	5	現在対象となる利用者なしとのことですが受け入れ態勢は整っていますか→現在体制は整っていないので受け入れはしていません。会社の方針として人工呼吸器を必要とされる方の受け入れはしない方向です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・受け入れた事がないのでわからない ・わからない ・現在のところ人工呼吸器を必要とする利用者は居ない				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	7	6	0	0	看取り支援に対して積極的にとりまれているようです
<p>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</p> <p>① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解</p>						
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	2	7	0	ミーティングや学習会での一部時間を活用しながら少しずつ理解を深めてください
<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者やケアマネは理解できていると思うが職員全員が把握してはいない ・関わっていない ・よくわからない 						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できていない	
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開						
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	3	4	2	0	地域や特定の施設に限定せず市内全域でのサービス提供 を行われているようです
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・市内であれば遠いところでも訪問や送迎を行い、サービスの提供をしている ・関わっていない ・わからない ・よくわからない。				
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等						
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0	2	6	2	地域関係者に対する課題提起や改善策の提案ができるよう顔の見える関係づくりから行っていきましょう
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・携わっていないのでわからない ・関わっていない ・よくわからない				
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0	2	6	2	家族の介護力を引き出す為の家族へのアセスメントは実施されていますか？家族ができていることを踏まえて家族がやってみたいこと、できそうなことを把握し取り組んでみてください
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・携わっていないのでわからない ・関わっていない ・よくわからない。				

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足				
Ⅲ 結果評価								
① 計画目標の達成								
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての利用者の計画目標が職員間で共有されておらず、モニタリングもされていない為、どれだけたっせいできているのかは不明 ・よくわからない 	1	10	1	0	全利用者のモニタリングを実施できるよう努めてください	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
1	10	1	0					
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感								
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要時、訪問看護に入ったり家族からの相談を受けたりすることにより、家族の不安の軽減につながっていると思う ・この施設を利用してよかった、他のところには行きたくない、安心して仕事が続けられています、などの家族の声をよく聞くことがある ・よくわからない 	1	8	0	0	家族が安心感をもって利用者の生活を支援できるよう努められています	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
1	8	0	0					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足				
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <table border="1" data-bbox="674 504 1202 568"> <tr> <td>4</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅での看取りが不安な家族に対しては、看多機での看取りが可能であることを伝え、看多機で看取りをしている ・24時間体制で、医師看護師も対応しているし、希望があれば何度でも家人との話し合いの場を設けていると思う 	4	7	0	0	在宅での看取りで家族が安心感を得られるように努められています	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」
4	7	0	0					